

□議員名：山田伸幸

1 宇宙監視レーダーについて

論点	防衛省は住民説明会の際に、レーダー電磁波のモニタリング調査をすると約束していたが、市の認識はどうか。先日の住民団体とのやりとりでは「モニタリング調査は行わない」と回答している。これは約束破りではないのか。
回答	市の住民説明会の記録では「当然行う予定」と回答しているとなっている。

論点	市は運用開始前にレーダー電磁波について、電磁波強度を実測するとしてきたが、どこが行うのか。また、そのデータを読み解くことができるのか。
回答	総務省が行うかは分からないが、電波防護指針の範囲内であるかどうかの測定が行われるはずなので、同行したい。

論点	住民団体とのやりとりで、基地内の活断層が問題になったのだが、防衛省は「基地内に活断層はない」と回答したが、そのデータは古く菊川断層が菊川町で止まっているものでしかない。今では菊川断層は埴生地区から海の中を走り、竜王山を抜けていることまで明らかになっているのに不見識ではないのか。
回答	国立研究開発法人産業技術総合研究所及び文科省地震調査推進本部のデータベースにのっとり、活断層はないという防衛省の報告を受け入れている。

2 水道料金値上げについて

論点	市民生活は物価高の影響を受け、大変苦しんでいるのになぜ大幅な値上げをするのか。
回答	公営企業として安定的な運営をすることが市民福祉の向上に寄与することだと考える。

論点	今回の値上げ案では平均値上げ率が19.4%とされているが、市
----	--------------------------------

	民が使う口径では21.6%の引き上げ率となっており、市民生活のことが考えられていない。
回答	市民が使う口径の収支は原価割れをされていて、大口需要者が大きな負担をしてくれている。

論点	今回の値上げにより中小業者のところで不安の声が多く上がっている。風呂に入るにしても毎日入ることができないのに、さらに入浴を減らすようなことが起きてしまう。これでよいのか。
回答	公共の福祉に着目し、市から7,000万円を繰り入れして激変緩和措置とした。この措置により値上げ幅が6.2%下げられた。

論点	生活困窮者は、このような緩和措置を行っても値上げに変わりなく大きな負担となる。兵庫県明石市のように、一人暮らしの高齢者の基本料金を軽減するような施策をとってはどうか。
回答	水道事業は受益者負担を原則に経営している。今回の激変緩和策は市民全体に向けたものである。